

瀋陽駐在員事務所



「地下鉄2号線開通」

2012年1月10日、瀋陽地下鉄2号線が開業しました。昨年10月に開業した1号線に次ぐ2本目の地下鉄です。瀋陽市内を南北に貫く2号線は、営業距離21.9キロで、駅数は19駅です。ちなみに、昨年開業した1号線（東西線）の営業距離は57.8キロ、駅数22駅、札幌市南北線は、営業距離14.3キロ、駅数16駅だそうです。瀋陽市では、2030年までに地下鉄11路線（総営業距離400キロ）が開通する予定で、既に4号、9号、10号線の建設が始まっています。写真は地下鉄の入り口ですが、1号線と2号線とではデザインが全く違います。1号線は地味、2号線は派手な印象ですね。同じ市営地下鉄なのに、この違いがどこからくるのか、何の意味があるのかは解りません。2030年までに、さらに9路線が開通して、市民生活が便利になるのはとても嬉しいことですが、入り口がどんなデザインになるのかも楽しみです。

正司 毅

(財)日中経済協会北京事務所 札幌経済交流室

「悔しいです！」

明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

昨年の12月25日クリスマス、三里屯という外国人や地元の若者が集まる場所で財布を掏られました。その際ザブングルの如く「悔しいです」と心の中で叫んでおりました。

その日はユニクロで買い物をした後、帰宅の為地下鉄の駅に向かっていました。小さい鞆を持っていた小職は店を出た後「年末だしスリに用心」と思い、しっかりと鞆のチャックを閉めました。そして用があった為日本に電話をしながら歩いていました。電話が3分程で終わり電話を鞆にしまおうと思ったらチャックが開いています。「あれ？」と3秒間思いましたがすぐに血の気が引き「まずい」と思いました。既に財布は盗まれていました。現金、クレジット等の各種カード、いただいた名刺・・・買い物をした紙袋に入っていないか→ない、ユニクロに忘れてないか→（店員半笑いで）ない。店員がなぜ半笑いかと言うと近辺では日常茶飯事とのこと。それから走って家に帰りクレジットを全て止める連絡、中国の銀行のカード紛失の連絡、次の日は銀行に行って手続き、警察に被害届。事情聴取も受けます。ぱっと机を見ると他の人の被害調書の山、内容が見えます。個人情報も何もあったものではありません。

驚くのは全くスリを気づかせないそのテクニックです。まさにプロ。小職は「知らない人へのクリスマスプレゼントだ」と自分を慰めるしかなかったのです。

中島 康成

ユジノサハリンスク駐在員事務所



「初めての海外赴任で・・・PART 7」

今回は、日本とロシアに於ける生活慣習の違いについてお話します。

誕生日の祝い方

日本人にとって記念日とは何か？「結婚記念日」、「誕生日」・・・人それぞれ違いはあると思いますが、私にとって記念日はこの歳（51歳）に至っては特にありません。

しかし、ロシア人にとって記念日のお祝いは重要です。

その日は私の誕生日でした。家族以外の人から自分の誕生日パーティーをしてもらうなど、30年近く記憶を遡っても思い出せないくらい昔のことです。ロシアで誕生日を迎えると、日本との習慣の違いに驚きます。日本の場合、周りの仲間がいろいろ準備をして、お祝いのプレゼントを貰います。ロシアでは全く逆なのです。つまり、誕生日を迎えた本人が食事やプレゼントを用意し、集まった仲間に振舞うのです。幸いにも当事務所の人員は私含めて5名と少人数。市内のレストランで忘年会も兼ねた楽しいパーティーでした。当然、ロシア方式で勘定の支払いは全て私持ち、チップも気前良く払い過ぎちゃいました。でも、それ以上に記憶に残る“ Мой день рождения (私の誕生日)” でした。

このように、ロシア人は何かにつけて都合の良い記念日をつくっては飲み会をセッティングし、“食べて、飲んで、踊って”、集まった全員が楽しく時を過ごします。これも日本とは違ったロシアならではの文化と言えるでしょう。

三上 訓人